

令和2年度 浜玉中学校 教育方針

I 学校経営の基本方針

1 人間尊重の精神を基盤とした学校教育の推進

教職員、生徒、保護者、地域、それぞれの人間的な触れ合いを深め、信頼と尊敬に基づいた人間関係を構築し、充実した教育活動を推進する。また、生徒の発達段階に応じた人権・同和教育を積極的に推進するために、教職員、保護者、地域の人権意識を高める。

2 将来を生き抜く力(生きる力)の育成

常に感謝の心を持ち、他と協働することの意義を理解し、「夢」と「望ましい将来の自分像」を具現化するために努力を惜しまない生徒を育成する。また、将来周りの変化にもしっかりと対応し、自立した個人として実社会や実生活を生き抜く基礎となる資質や能力を育む。

3 開かれた学校づくり、魅力ある学校づくりの推進

地域の中の学びの場として、一層信頼される学校をめざし、組織としての取組、学校と地域が一体となった取組等の情報発信に努め、地域との理想的な関係づくりを進める。また、「この学校に通わせたい」という魅力ある学校づくりを推進する。

4 教職員の資質及び指導力の向上と学力向上の推進

教職員が力をあわせるとともに切磋琢磨し、学んだことや経験したこと等を生かし、生徒を鍛え、ともに力をあわせ、お互いに成長する喜びを共有する。また、主体的に考え、学ぶ生徒を育成し、生徒の学力の向上を図る。

5 安全・安心で快適な教育環境及び危機管理体制の整備・充実

生徒の生活の場、学習の場として、質の高い学校施設・設備の充実を図るとともに、安全で安心して生活できる教育環境の整備と美化に努める。

生徒、教職員、保護者、地域の危機予見能力や危機回避能力を高めるような取組等を実施するとともに、日常から安全に対する意識を高める。また、常に緊張感と危機感を持って教職員の服務規律の保持に努める。

II 学校教育方針

1 学校教育目標

『豊かな心を育み、未来を切り拓こうとする生徒の育成』

～力を合わせ ともに伸びる～

『浜玉中三訓』 時間 掃除 あいさつ

《時を守り 場を清め 礼をつくす》

2 めざす教育像

[生徒像]	[学校像]	[教師像]
<ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え、自ら学ぶ生徒 ○豊かでたくましく生きるための心身を持つ生徒 ○笑顔でさわやかな挨拶ができる生徒 ○郷土を愛し、自分の学校を誇りに思う生徒 ○力を合わせ、常に努力していこうとする生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく生き生きと、安心して学び、ともに伸びる喜びを味わえる学校 ○家庭、地域等とともに教育活動を充実させ、信頼と期待に応える学校 ○伝統を重んじ、特長と課題を明らかにしてともに前進する魅力ある学校 ○この学校に通わせたいと思われる学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒と向き合い、夢を語り、ともに伸びる教師 ○情熱と責任を持ち、信頼される教師 ○地域に学び、地域とともに歩む教師 ○互いに信頼し、研鑽に努め、ともに伸びる教師 ○力をあわせ、常に努力していこうとする教師

3 本年度教育の重点

- | | |
|---------------|---------------------|
| (1) 学力の定着と向上 | (2) 心の教育の推進と道徳教育の充実 |
| (3) キャリア教育の推進 | (4) 地域とともにある学校づくり |

(1) 学力の定着と向上

基礎的・基本的な内容の定着はもちろん、思考力・判断力・表現力の育成をめざし、主体的・対話的で深い学びのある授業やICT利活用を取り入れた授業の工夫改善を行い、主体的に考え、学ぶ生徒の育成を図る。

(2) 心の教育の推進と道徳教育の充実

大きな声と笑顔で挨拶や返事をし、素直な心を忘れず、生涯にわたって誰からも親しまれる生徒の育成をめざす。また、生徒の良さを認め、生徒の良さを引き出す。生徒自身が、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者とともによりよく生きるため、更なる道徳教育の充実を図る。また、体験活動の重要性を理解し、積極的に取り組む。

部活動や学校行事を通して、達成感や成就感を味わわせ、「感動」と「感謝」の心があふれる生徒を育成する。

(3) キャリア教育の推進

教師が「夢」を語り、「夢」と「望ましい将来の自分像」を持ち、その実現のために努力を惜しまない生徒を育成し、周囲もそれを応援する雰囲気づくりに努めながら、個に応じた進路指導の充実を図る。

(4) 地域とともにある学校づくり

すべての教育活動において本校の一貫した方針を発信するとともに、地域の「思い」を大切にし、家庭や地域の教育力を生かした活動を実践していく。

全職員が地域との協働の意識を高め、積極的に地域に出向くことで信頼を深め、理想的な関係づくりを推進する。